

公益財団法人まちみらい千代田
第5期 第3回 評議員会 議事録

1 日時

平成29年12月19日（火）午前10時5分～午前11時30分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階401会議室

3 評議員現在数

10名

4 出席者

(1) 評議員出席者（7名）

野本俊輔会長、鈴木潔副会長、親泊哲、鎌倉勤、高橋陽子、高山肇、谷眞理子
[欠席者：熊谷エイ、澤崎宏、山本久喜]

(2) 理事（2名）

山崎芳明理事長、立川資久副理事長

(3) 事務局（5名）

立川資久事務局長（副理事長兼務）、本郷友孝グループマネージャー(GM)、
金子辰夫GM、加藤英明GM、伊澤優GM

5 議題

(1) 議案 第7号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

(2) 第5期事業実施状況中間報告

6 開会、挨拶、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配付資料の確認を行った。定款第25条により、評議員会の議長を務める野本会長が開会を宣言し、山崎理事長に挨拶を求めた。

山崎理事長は挨拶の中で、第5期事業実施状況中間報告の作成方法について、事業に対する進捗だけではなく、具体的対応や成果、改善すべきことを下半期や次年度につなげていく視点を持って記載するように、各グループ職員に対して指導したことを報告した。

山崎理事長の挨拶後、事務局から出席者の報告を行った。定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを確認し、野本会長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により本日出席の親泊評議員と高山評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。

その後、議事に入った。

7 議事の経過及び結果

(1) 議案 第7号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

立川事務局長から議案第7号について、提案説明を行った。千代田区の人事異動に伴い地域振興部長の細越正明氏を新たな理事候補として提案した。

これを評議員に諮ったところ、全員異議なく、議決した。

(2) 第5期事業実施状況中間報告

立川事務局長が第5期事業実施状況中間報告の概要を説明し、詳細については、各グループマネージャーから報告を行った。

- ・住宅まちづくりグループの事業については、金子GMが報告を行った。
- ・産業まちづくりグループの事業については、加藤GMが報告を行った。
- ・まちづくり推進担当の事業については、伊澤GMが報告を行った。
- ・企画総務グループの事業については本郷GMが報告を行った。

報告後、以下のような質疑や意見があった。

(評議員)

管理会社との連絡会には、より多くの管理会社に参加してほしい。まちみらい千代田の充実しているマンション事業を、マンションの理事及び理事長が、すべて把握することは難しいため、管理会社に把握してもらうことが望ましい。そのために、広報などにより開催周知を図り、より多くの参加を促してほしい。

(まちみらい千代田)

管理会社にまちみらい千代田の事業を知って貰い、それをマンションの総会や理事会の場で活用して頂きたいと考えているが、管理会社の中にはそうした対応に消極的なところ

が多いようだ。今後もより多くの管理会社に参加して頂けるよう検討する。なお、情報提供だけではなく、管理会社とまちみらい千代田が協働して行う事業等についても検討して参りたい。

(評議員)

安心安全整備助成事業の中で、防犯カメラの設置に対する助成があるが、リースの場合は、リース金額総額に対して、経費の2分の1（上限30万円）を助成するのか。

(まちみらい千代田)

防犯カメラの設置に対する助成は、買い取り、リースともに、イニシャルコストに対する助成である。もともとは、千代田区が行っていた助成制度で、廃止になっていたが、近年の防犯に対する意識の変化により、まちみらい千代田で助成を行うことにした。

(評議員)

防災用品等準備助成のEVキャビネットの配布は、マンションごとにエレベーターのタイプは違うと思うが、配布されるキャビネットはそういうタイプに応じたものなのか。

(まちみらい千代田)

2種類のタイプから選択してもらうことになる。EVキャビネットは、マンションに対して、1つの配布となるため、エレベーターが2基ある場合には、1つを資機材等購入費助成で購入してもらうことにより、費用の2分の1を助成することができる。

(評議員)

ビジネス起業塾では、同じ人が複数の講座を受講することは可能か。また、女性起業家編では、女性のためにどのような内容を中心として講義をしているのか。

(まちみらい千代田)

女性起業家編を受講して、業種特化編を受講する方もいる。女性起業家編は、子育て世代が多く、お試し起業を実施する方なども見受けられるため、マーケティングの講義を増やしている。女性の起業の成功事例なども講師から話をしてもらっている。

(評議員)

中間報告書には、事業ごとに予算額や半期の執行額を記載してもらうと事業規模が把握しやすい。また、事業の新規・拡充の記載があるが、廃止・縮小の事業があれば、それを記載したほうがわかりやすい。

(まちみらい千代田)

事業計画書及び事業報告書には、予算額の記載はしているので、今後の中間報告書作成の際は、予算額を記載する。半期の執行額の記載は、作成のスケジュールの関係上、難しい。廃止事業等については、事業計画書に記載する。

(評議員)

まちみらいニュースの発行については、外国人在留者が過去最高で、多文化共生を推進している自治体もある中で、そのような取り組みを記事として掲載することで、より関心をもってもらえると思う。

(評議員)

マンション管理組合顧問派遣とアドバイザー派遣との違いは何か。

(まちみらい千代田)

マンション管理組合顧問派遣は、自主管理や管理規約がないなど、管理が適切に行われていないと考えられる小規模マンションなどに対して、マンション管理士のような専門家を継続して派遣し、支援する制度。アドバイザー派遣は、マンションの維持管理、共同化や再開発などの相談に対して、マンション管理士や再開発プランナーなどの専門家をその都度派遣する制度。

8 閉会

以上をもってすべての議事を終了したので、午前11時30分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長及び評議員がこれに署名、押印する。

平成29年12月19日

公益財団法人まちみらい千代田
第5期 第3回 評議員会

議 長 野 本 俊 輔 ⑩

議事録署名人 親 泊 哲 ⑩

議事録署名人 高 山 肇 ⑩